

【引受保険会社】



〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

## 2016年度 (2016年4月～2017年3月) 特別勘定の現況

### 決算のお知らせ

#### ご契約者の皆様へ

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。  
さて、弊社は去る3月31日に決算を迎えましたので、ここに特別勘定の運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも何卒ご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

#### 【利用する投資信託の委託会社】

##### アライアンス・バーンスタイン株式会社

アライアンス・バーンスタイン株式会社は、米国ニューヨークに本社を置くアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーを中核とするアライアンス・バーンスタイン\*の日本拠点です。アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーは1971年の設立以来、資産運用会社として長年にわたる歴史を有し、世界各国の主要都市に業務展開を行い、個人投資家や富裕層、機関投資家向けに投資信託や年金運用等の投資サービスを提供しています。グローバルな調査体制を擁する世界有数の運用会社として、株式、債券、マルチアセット、オルタナティブ運用など、幅広い資産運用サービスや商品を提供しています。

\*アライアンス・バーンスタインには、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーとその傘下の関連会社を含みます。



##### ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社は、米国ステート・ストリート銀行の資産運用部門(SSGA)の東京拠点です。1998年10月1日に業務を開始、投資信託・投資顧問業務を幅広く展開しています。ステート・ストリート銀行は、1792年に米国ボストンに設立された歴史と伝統を有する金融機関であり、卓越した財務内容と高い信用力を有しています。SSGAは、最先端テクノロジーと高度な運用技術を駆使したクオンツ運用に定評があり、特にインデックス運用では世界有数の資産運用会社として評価されています。

##### アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社



アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社は、マルチ・エキスパートによる資産運用業務をグローバルに展開するアクサ・インベストメント・マネージャーズの日本法人として、機関投資家の資金や投資信託の運用を行う資産運用会社です。1987年の日本進出以来、ファンダメンタルズ情報と最新の運用テクノロジーを結合することにより、一貫した投資哲学に基づく株式のアクティブ運用を行うとともに、債券、オルタナティブ投資商品といった幅広い投資家のニーズに応える高品質な運用商品を提供しています。

- ・ アクサ生命保険株式会社の「ユニット・リンク保険(有期型)」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・ 当資料は、アクサ生命保険株式会社の「ユニット・リンク保険(有期型)」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・ 商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要／注意喚起情報)」、「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・ 当資料に記載されている各表にある金額、比率、資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等していますので、合計等と合致しないことがあります。

# ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の現況（2016年4月～2017年3月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

## 特別勘定の種類と運用方針について

特別勘定名	基本資産 配分比率	運用方針	利用する投資信託		参照ページ
			投資信託名	委託会社	
安定成長 バランス型	日本 株式 20%	主として国内外の株式及び債券を 主要投資対象とする投資信託に投 資することにより、中長期的に安定 した投資成果を目標として運用を 行います。実質組入外貨建資産の 為替変動リスクに対するヘッジは 原則として行いません。 基本資産配分は、日本株式2 0%、外国株式20%、日本債券3 0%、外国債券30%とし、一定の 規律に従いリバランス <sup>*1</sup> を行います。	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ジャパン・スタイル・ブレンド・ファンド-2	アライアンス・バーンスタイン株式会社	7 (下段)
	外国 株式 20%		アクサ IM・グローバル(日本除く)株式ファンド <適格機関投資家私募>	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社	8 (下段)
	日本 債券 30%		日本債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定> <sup>(※1)</sup>	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ 株式会社	6 (上段)
	外国 債券 30%		外国債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定> <sup>(※2)</sup>	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ 株式会社	6 (下段)
積極運用 バランス型	日本 株式 25%	主として国内外の株式及び債券を 主要投資対象とする投資信託に投 資することにより、中長期的に安定 した投資成果を目標として運用を 行います。実質組入外貨建資産の 為替変動リスクに対するヘッジは 原則として行いません。 基本資産配分は、日本株式2 5%、外国株式35%、日本債券2 0%、外国債券20%とし、一定の 規律に従いリバランス <sup>*1</sup> を行います。	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ジャパン・スタイル・ブレンド・ファンド-2	アライアンス・バーンスタイン株式会社	7 (下段)
	外国 株式 35%		アクサ IM・グローバル(日本除く)株式ファンド <適格機関投資家私募>	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社	8 (下段)
	日本 債券 20%		日本債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定> <sup>(※1)</sup>	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ 株式会社	6 (上段)
	外国 債券 20%		外国債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定> <sup>(※2)</sup>	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ 株式会社	6 (下段)
特別勘定名	基本資産 配分比率	利用する投資信託		参照ページ	
		投資信託名	委託会社		
日本株式 プラス型	日本 株式 100%	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ジャパン・スタイル・ブレンド・ファンド-2	アライアンス・バーンスタイン株式会社	7 (下段)	
外国株式 プラス型	外国 株式 100%	アクサ IM・グローバル(日本除く)株式ファンド <適格機関投資家私募>	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社	8 (下段)	
世界債券 プラス型	世界 債券 100%	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ボンド・ファンド-3	アライアンス・バーンスタイン株式会社	9 (下段)	
オーストラリア 債券型	オース トラリア 債券 100%	アライアンス・バーンスタイン・オーストラリア債券ファンド (適格機関投資家専用)	アライアンス・バーンスタイン株式会社	10 (下段)	
新興国 株式型	新興 国株 式 100%	エマージング株式インデックス・ファンド <適格機関投資家限定> <sup>(※3)</sup>	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社	11 (下段)	
金融 市場型	短期 金融 資産 100%	アクサ ローゼンバーク・日本円マネー・プール・ファンド(B) (適格機関投資家私募)	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社	12 (下段)	

- ※ 利用する投資信託の運用方針は、参照ページにある運用方針をご覧ください。
- ※ 特別勘定の種類、運用方針および委託会社等の運用協力会社は、法令等の改正または効率的な資産運用が困難になる等の理由により、変更されることがあります。なお、委託会社等の運用協力会社については、運用成績の悪化等、当社がお客さまの資産運用にふさわしくないと判断した場合、変更させていただくことがあります。
- ※ 特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。
- ※ 安定成長バランス型、積極運用バランス型および外国株式プラス型で利用していた「適格機関投資家私募アライアンス・バーンスタイン・海外株式スタイル・ブレンド・ファンド-1」は、2015年5月26日に償還され、2015年4月から新たに「アクサ IM・グローバル(日本除く)株式ファンド<適格機関投資家私募>」に投資しております。
- ※ オーストラリア債券型および新興国株式型は、2015年5月1日に設定されました。
- ※ 「金融市場型」は株価、債券価格、為替等の変動の影響を受ける可能性が低いことを想定した特別勘定です。  
ただし、低金利環境下(マイナス金利を含む)では、「金融市場型」の積立金の増加が期待できないだけでなく、諸費用の控除等により積立金が減少することもありますのでご注意ください。
- (※1) 2016年5月31日より、当投資信託名は、「ステート・ストリート日本債券インデックス・ファンドVA2<適格機関投資家限定>」から変更となりました。
- (※2) 2016年5月31日より、当投資信託名は、「ステート・ストリート外国債券インデックス・ファンドVA2<適格機関投資家限定>」から変更となりました。
- (※3) 2016年5月31日より、当投資信託名は、「ステート・ストリート・エマージング株式インデックス・ファンド<適格機関投資家限定>」から変更となりました。

・2ページおよび6ページ～12ページに記載されている「\*1～\*9」の用語説明は、4ページに記載しています。

### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

# ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の現況（2016年4月～2017年3月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- 当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

## 運用環境 [ 2016年4月～2017年3月 ]

### 【日本株式市場】

日本株式市場は上昇しました。年度末の東証株価指数(TOPIX)は前年度末比+12.28%の1,512.60ポイント(前年度末1,347.20ポイント)となりました。年度の前半は、6月末に英国の国民投票でEU(欧州連合)離脱派が勝利したことを受けて急落する局面があり、一時1,200ポイントを下回りました。年度の後半は、11月初旬に米大統領選挙でトランプ氏が勝利したことを受けて急落する局面がありましたが、米新政権の政策への期待などから市場は上昇し、1,500ポイントを超えました。1月に米新政権が発足すると、政策運営への不透明感と期待とが錯綜し、その後はみ合い展開となりました。

### 【外国株式市場】

米国株式市場は上昇しました。年度末のNYダウ工業株30種は前年度末比+16.84%の20,663.22ドル(前年度末17,685.09ドル)となりました。年度の前半は、6月末に英国の国民投票の結果などを受けて急落する局面があり、一時17,000ドル近辺まで下落しましたが、買戻しの動きと堅調な経済指標から上昇に転じました。年度の後半は、11月初旬に米大統領選挙でトランプ氏が勝利したことを受けて、米新政権の政策への期待などから市場は大幅に上昇しました。その後、米新政権の政策運営への不透明感から軟調に推移する場面もありましたが、3月には21,169.11ドルを付け、期を通じては上昇して終えました。欧州株式市場は上昇しました。市場別の年間の騰落率は、独DAX指数+23.55%、英FTSE100指数+18.59%、仏CAC40指数+16.82%となりました。6月末の英国の国民投票の結果などを受けて急落する局面がありましたが、年度の後半には、米国株式市場に連れて上昇しました。

### 【日本債券市場】

日本債券市場は、10年国債の金利が上昇(価格は下落)し、年度末には0.065%(前年度末△0.050%)となりました。年度の前半は、4月から6月にかけて日銀の追加金融緩和期待への高まりなどを背景に、金利は低下基調で推移しました。6月末の英国の国民投票の結果などを受けて金利は更に低下し、△0.300%となる場面がありました。その後、7月から8月にかけて、財務相が40年国債増発の検討を表明したことなどから金利は上昇に転じ、9月には日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」の導入を発表したことなどを受けて、0%近辺で推移しました。年度の後半は、米新政権の政策への期待などから米国金利が上昇したことによって国内金利も上昇しました。

### 【外国債券市場】

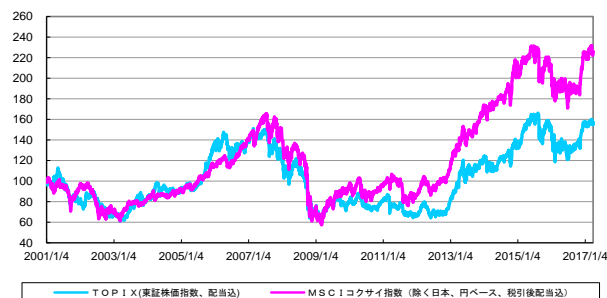
米国債券市場は、10年国債の金利が上昇(価格は下落)し、年度末には2.387%(前期末1.769%)となりました。年度の前半は、6月末に、英国の国民投票の結果などを受けて金利は急低下する局面があり、一時1.3%近辺まで低下しました。年度の後半は、11月初旬に米大統領選挙でトランプ氏が勝利したことを受けて、米新政権の政策への期待、インフレ率上昇の観測、さらには、FOMC(連邦公開市場委員会)で1年ぶりの利上げが決まったことなどを背景に金利は上昇しました。その後は、金利上昇への期待と、新政権の政策運営への不透明感から揉み合いました。年度中に、FRB(米連邦準備制度理事会)による、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標引き上げが2回行われ、計0.500%引き上げの年0.750～1.000%となりました。欧州債券市場は、独10年国債の金利が上昇(価格は下落)し、年度末には0.328%(前年度末0.153%)となりました。年度の前半は、EUが域内の景気・物価見通しを下方修正したこと、英国の国民投票の結果などから金利は低下し、△0.2%を下回りました。年度の後半は、米新政権の政策への期待、インフレ率上昇の観測などを背景に金利は上昇し、0.5%超となることもありました。ECB(欧州中央銀行)の政策金利は据え置かれ、年0.000%となっています。

### 【外国為替市場】

米ドル/円相場は、円高米ドル安となり、年度末には112.19円(前年度末112.68円)となりました。年度の前半は、米国の早期利上げ観測の後退、英国の国民投票の結果などを受けて円高で推移し、100円近辺の水準となることがありました。期の後半は、11月初旬に米大統領選挙でトランプ氏が勝利したことを受けて、米新政権への期待からドルが買われました。その後も、12月には堅調な米景気指標や、FOMCで1年ぶりの利上げが決まったことなどを背景に円安が進行し、118.18円を付きました。年度末に向けて米国の金利上昇への期待と米新政権の政策運営への不透明感から揉み合い、円高米ドル安で推移しました。ユーロ/円相場は、円高ユーロ安となり、期末には119.79円(前期末127.70円)となりました。期の前半は、英国の国民投票の結果などを受けて円高に推移し、一時111.22円となりました。期の後半は、11月初旬に米大統領選挙でトランプ氏が勝利したことを受けて、円、ユーロとも対ドルで下落しましたが、円の下落幅がユーロよりも大きかったことなどから、対ユーロで円安基調となりました。期末に向けて欧州における反EUの政治リスクへの懸念と欧州の金利上昇との間で揉み合いましたが、期を通じては円高ユーロ安となりました。

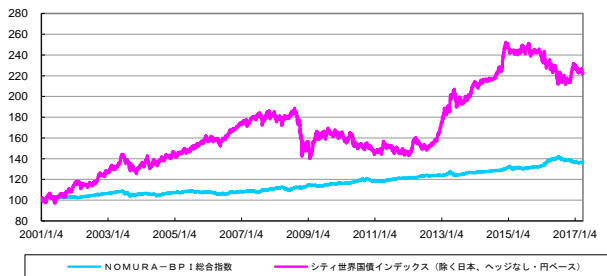
### 日本と外国の株式市場の推移

\*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

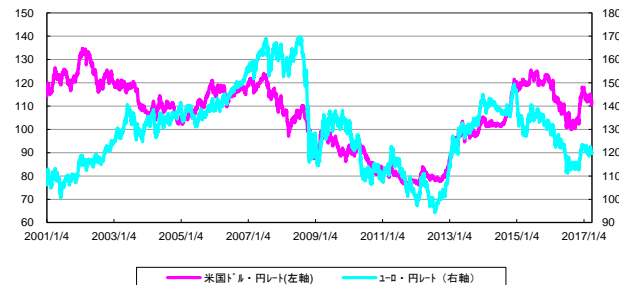


### 日本と外国の債券市場の推移

\*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



### 外国為替市場の推移



出所：株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先： カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

# ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の現況（2016年4月～2017年3月）

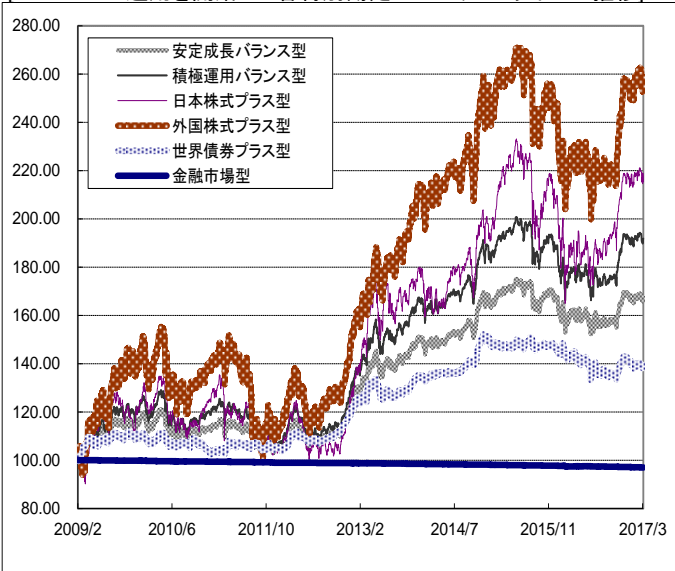
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

## 特別勘定の運用状況 [ 2017年3月 末日現在 ]

### ■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。

[2009/2/1に運用を開始した各特別勘定のユニットプライスの推移]



[2015/5/1に運用を開始した各特別勘定のユニットプライスの推移]



### ■特別勘定資産の内訳

特別勘定名	資産残高 金額(千円)
安定成長バランス型	5,724,568
積極運用バランス型	10,167,163
日本株式プラス型	2,701,697
外国株式プラス型	12,344,382
世界債券プラス型	1,935,193
オーストラリア債券型	698,842
新興国株式型	1,393,199
金融市場型	198,717

※ 金額の単位未満は切捨てとしました。

## 用語説明

- \*1 「リバランス」とは、当初決定した基本資産配分に向けて調整することをいいます。
- \*2 「NOMURA-BPI総合指数」とは、日本国内で発行される公券固定利付債の流通市場動向を的確に表すために、野村證券株式会社によって計算、公表されている投資収益指数です。NOMURA-BPI総合は野村證券株式会社の知的財産です。野村證券株式会社は、当特別勘定の運用成果等に関し、一切責任はありません。
- \*3 「シティ世界国債インデックス」とは、Citigroup Index LLCが算出・公表する指数で、1984年12月末日を100として世界主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額で加重平均し指数化したものです。シティ世界国債インデックスに対する著作権、知的財産権その他一切の権利はCitigroup Index LLCに帰属します。
- \*4 「TOPIX(東証株価指数 配当込)」とは、東京証券取引所第一部に上場されている普通株式全銘柄の時価総額を指数化し、配当収益を考慮したインデックスであり、市場全体の動向を反映するものです。TOPIX(東証株価指数)は、株式会社東京証券取引所(以下東証証券取引所)の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は東証証券取引所が有しています。東証証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- \*5 「MSCIコクサイ指数」とは、MSCI Inc.が日本を除く世界の先進国株式市場のパフォーマンスを測るために開発した指数で、各国の株式時価総額等をベースに算出されたものです。MSCIコクサイインデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- \*6 「シティ世界国債インデックス(円ベース)」とは、Citigroup Index LLCが算出・公表する指数で、1984年12月末日を100として世界主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額で加重平均し指数化したものです。シティ世界国債インデックス(円ベース)に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はCitigroup Index LLCに帰属します。
- \*7 「ブルームバーグ・オーストラリア国債インデックス」は、ブルームバーグが算出・公表する指数で、オーストラリアの債券市場の動向を表す代表的な指数です。当該インデックスに関する知的財産権およびその他の権利はブルームバーグ エル・ピーに帰属します。
- \*8 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国の株式の総合投資収益を各市場の時価総額比率で加重平均し、指数化したものです。「MSCIエマージング・マーケット・インデックス(円ベース)」に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- \*9 「日本円無担保コールオーバーナイト物レート」について。コール市場とは、民間金融機関が短期的な手元資金の余剰や不足を調整するための市場をいいます。このコール市場において、金融機関間で、担保なしで、翌日に返済することを条件に、短期の資金を貸し・借りする取引に適用される金利を「無担保コールオーバーナイト物レート」といいます。

### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

# ユニット・リンク保険（有期型）

## 特別勘定の現況（2016年4月～2017年3月）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

### 特別勘定 安定成長バランス型・積極運用バランス型 [2017年3月 末日現在]

#### ■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

##### 安定成長バランス型

2016年度のユニットプライス騰落率は+3.08%となりました。

組み入れている日本株式投資信託、外国株式投資信託の資産が上昇し、ユニットプライスにプラス寄与しました。資産配分に関しましては、基本資産配分を概ね維持しております。今後も引き続き、上記運用方針に沿って運用を行う予定ですが、将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更されることがあります。

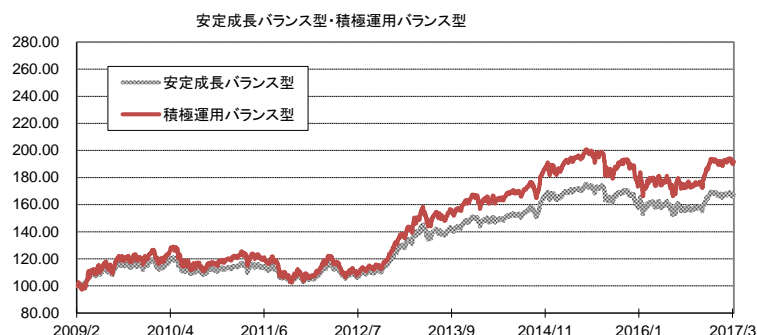
##### 積極運用バランス型

2016年度のユニットプライス騰落率は+6.63%となりました。

組み入れている日本株式投資信託、外国株式投資信託の資産が上昇し、ユニットプライスにプラス寄与しました。資産配分に関しましては、基本資産配分を概ね維持しております。今後も引き続き、上記運用方針に沿って運用を行う予定ですが、将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更されることがあります。

#### ■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



		安定成長バランス型	積極運用バランス型
ユニット プライス	2017年3月末	167.14	191.79
	2016年12月末	168.20	191.63
	2016年9月末	156.56	173.89
	2016年6月末	155.07	170.37
	2016年3月末	162.16	179.87
	2015年12月末	167.47	189.04
騰落率 (%)	過去1ヵ月	0.03	0.20
	過去3ヵ月	▲ 0.63	0.08
	過去6ヵ月	6.76	10.29
	過去1年	3.08	6.63
	過去3年	11.93	16.49
	設定来	67.15	91.79

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2009年2月1日)の前日を100.00として計算しています。

※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

※ 特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認いただくことができます。

#### ■特別勘定資産の内訳

項目	安定成長バランス型			積極運用バランス型		
	金額(千円)	比率(%)	基本資産(%)	金額(千円)	比率(%)	基本資産(%)
現預金・その他	246,960	4.3	-	432,836	4.3	-
その他有価証券	5,477,608	95.7	100.0	9,734,327	95.7	100.0
日本株式	1,094,191	19.1	20.0	2,339,369	23.0	25.0
外国株式	1,080,540	18.9	20.0	3,326,700	32.7	35.0
日本債券	1,625,685	28.4	30.0	2,046,762	20.1	20.0
外国債券	1,677,190	29.3	30.0	2,021,494	19.9	20.0
合計	5,724,568	100.0	100.0	10,167,163	100.0	100.0

※ 特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。

※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

#### ■特別勘定資産の運用収支状況

項目	安定成長バランス型	積極運用バランス型
	金額(千円)	金額(千円)
利息配当金収入	7,298	1,301
有価証券売却益	-	-
有価証券評価益	185,311	543,258
有価証券償還益	-	-
為替差益	-	-
その他収益	-	-
有価証券売却損	-	-
有価証券評価損	▲ 10,826	▲ 79,927
有価証券償還損	-	-
為替差損	-	-
その他費用及び損失	-	-
収支差計	203,436	624,487

※ 金額の単位未満は切り捨てとしました。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

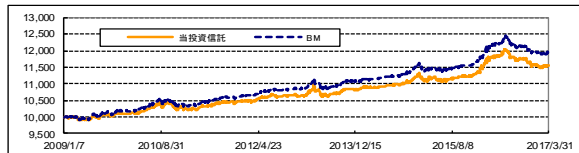
# ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の現況（2016年4月～2017年3月）

- 「特別勘定 安定成長バランス型」「特別勘定 積極運用バランス型」で利用している投資信託の情報を記載しております。
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

## 《参考情報》 日本債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>

[2017年3月末日現在]

### ■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2009年1月8日)の前日を10,000として指数化しています。

### ■当投資信託の騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	▲0.16%	▲0.47%	▲2.02%	▲1.52%	6.12%	15.38%
BM	▲0.11%	▲0.35%	▲1.82%	▲1.15%	7.28%	19.39%
差	▲0.06%	▲0.11%	▲0.20%	▲0.36%	▲1.17%	▲4.01%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2009年1月8日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。

### ■マザーファンド受益証券の詳細情報

#### ○ 組入上位10銘柄

順位	銘柄	クーポン	償還日	マザーファンド	BM
1	第130回利付国債	0.100%	2021年12月20日	1.65%	0.78%
2	第344回利付国債	0.100%	2026年9月20日	1.35%	0.80%
3	第298回利付国債	1.300%	2018年12月20日	1.28%	0.45%
4	第345回利付国債	0.100%	2026年12月20日	1.13%	0.75%
5	第129回利付国債	0.100%	2021年9月20日	1.06%	0.77%
6	第340回利付国債	0.400%	2025年9月20日	1.04%	0.84%
7	第297回利付国債	1.400%	2018年12月20日	0.96%	0.26%
8	第304回利付国債	1.300%	2019年9月20日	0.89%	0.29%
9	第295回利付国債	1.500%	2018年6月20日	0.88%	0.28%
10	第313回利付国債	1.300%	2021年3月20日	0.82%	0.55%
合計				11.06%	5.77%
組入銘柄数				550銘柄	

※ 「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

### ■当投資信託について

【投資信託名】 日本債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>  
【委託会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社  
【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本の公社債等に投資を行い、ベンチマーク(NOMURA-BPI 総合指数<sup>2</sup>)に連動した投資成果をめざします。  
※ 当投資信託は、主として日本債券インデックス・マザーファンド受益証券に投資します。

### ○ 債券種別資産構成比率

	マザーファンド	BM	差
国債	80.55%	82.59%	▲2.04%
地方債	6.05%	5.67%	0.38%
政府保証債	3.61%	2.96%	0.65%
金融債	0.86%	0.73%	0.13%
事業債	6.76%	6.23%	0.53%
円建外債	0.63%	0.57%	0.06%
MBS債	1.38%	1.25%	0.13%
コール・その他	0.15%	0.00%	0.15%
合計	100.00%	100.00%	0.00%

※ 資産担保証券(ABS)は事業債に含まれています。

### ○ ポートフォリオの状況

	マザーファンド	BM	差
平均複利回り	0.14%	0.14%	0.00%
平均クーポン	1.26%	1.07%	0.19%
平均残存期間	9.47	9.45	0.02
修正デュレーション	8.80	8.80	0.00

※ 「複利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。

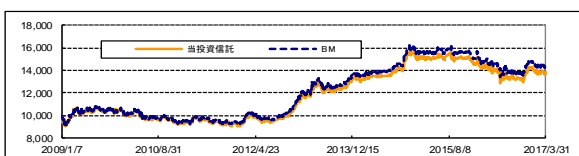
※ 「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

※ 2013年11月より、BMの数値はポートフォリオの属性分析を行っている大和Poetにより、委託会社が計算して掲載しております。

## 《参考情報》 外国債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>

[2017年3月末日現在]

### ■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2009年1月8日)の前日を10,000として指数化しています。

### ■当投資信託の騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	▲0.03%	▲3.00%	4.11%	▲5.10%	2.61%	38.08%
BM	0.02%	▲2.89%	4.39%	▲4.65%	4.07%	43.79%
差	▲0.05%	▲0.11%	▲0.28%	▲0.45%	▲1.46%	▲5.71%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2009年1月8日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。

### ■マザーファンド受益証券の詳細情報

#### ○ 組入上位10銘柄

順位	銘柄	通貨	クーポン	償還日	マザーファンド	BM
1	アメリカ国債	米ドル	2.000%	2021年5月31日	0.98%	0.18%
2	アメリカ国債	米ドル	3.625%	2021年2月15日	0.86%	0.31%
3	アメリカ国債	米ドル	1.375%	2018年12月31日	0.81%	0.11%
4	アメリカ国債	米ドル	1.500%	2023年3月31日	0.78%	0.17%
5	アメリカ国債	米ドル	2.000%	2021年2月28日	0.74%	0.17%
6	アメリカ国債	米ドル	1.000%	2019年11月30日	0.73%	0.14%
7	アメリカ国債	米ドル	2.500%	2024年5月15日	0.69%	0.42%
8	アメリカ国債	米ドル	2.000%	2021年11月15日	0.68%	0.27%
9	アメリカ国債	米ドル	2.000%	2021年12月31日	0.68%	0.22%
10	アメリカ国債	米ドル	1.250%	2020年2月29日	0.67%	0.12%
合計					7.62%	2.12%
組入銘柄数					461銘柄	

※ 「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

※ ベンチマーク(BM)の比率は2017年3月30日時点の時価をもとに月末の対顧客電信相場値で円換算したものです。

### ■当投資信託について

【投資信託名】 外国債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>  
【委託会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社  
【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本を除く世界主要国の国債、政府機関債等に投資を行い、ベンチマーク(シティ世界国債インデックス<sup>3</sup>(除く日本、ヘッジなし・円ベース))に連動した投資成果をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。  
※ 当投資信託は、主として外国債券インデックス・マザーファンド受益証券に投資します。

### ○ 組入上位10カ国

順位	国名	マザーファンド	BM
1	アメリカ	44.38%	44.45%
2	フランス	9.78%	9.83%
3	イタリア	9.24%	9.26%
4	イギリス	7.31%	7.30%
5	ドイツ	7.15%	7.18%
6	スペイン	5.48%	5.51%
7	ベルギー	2.54%	2.55%
8	オランダ	2.30%	2.28%
9	カナダ	2.14%	2.14%
10	オーストラリア	2.14%	2.13%
合計		92.47%	92.64%

### ○ ポートフォリオの状況

	マザーファンド	BM	差
平均複利回り	1.43%	1.42%	0.02%
平均クーポン	3.17%	2.62%	0.56%
平均残存期間	8.43	8.30	0.13
修正デュレーション	6.96	6.93	0.03

※ 「複利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。

※ 「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

※ 上記の属性は2017年3月30日時点のものです。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・2ページおよび6ページ～12ページに記載されている「\*1～\*9」の用語説明は、4ページに記載しています。

### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

## ユニット・リンク保険（有期型）

### 特別勘定の現況（2016年4月～2017年3月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

### 特別勘定 日本株式プラス型 [2017年3月 末日現在]

#### ■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2016年度のユニットプライス騰落率は+14.94%となりました。（以下、バリュー株Mファンドは委託会社独自のセクター別、グロース株MファンドはGICSセクター別で記載。）当期の日本株式市場は、2016年7月上旬にかけては、イギリスの欧州離脱決定や為替の円高傾向などから投資家心理に左右される不安定な展開となりました。その後は、投資家不安の後退や米国大統領選挙で当選したトランプ氏の政策への期待、為替の円安傾向などを背景に、おおむね堅調に推移しました。利用する投資信託のベンチマークとの比較では、バリュー株Mファンドでは、テクノロジーにおける銘柄選択などがプラス要因となりました。グロース株Mファンドでは、情報技術における銘柄選択などがマイナス要因となりました。各マザーファンドに対する基本資産配分を概ね維持しました。今後も引き続き、当投資信託への投資を行う方針です。

#### ■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日（2009年2月1日）の前日を100.00として計算しています。

※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

※ 特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認いただくことができます。

#### ■特別勘定資産の運用収支状況

		日本株式プラス型	項目		金額(千円)
ユニット プライス	2017年3月末	215.32	利息配当金収入	5,760	
	2016年12月末	214.59	有価証券売却益	—	
	2016年9月末	189.65	有価証券評価益	298,142	
	2016年6月末	178.20	有価証券償還益	—	
	2016年3月末	187.33	為替差益	—	
	2015年12月末	209.66	その他収益	—	
騰落率 (%)	過去1ヵ月	▲0.34	有価証券売却損	—	
	過去3ヵ月	0.34	有価証券評価損	—	
	過去6ヵ月	13.54	有価証券償還損	—	
	過去1年	14.94	為替差損	—	
	過去3年	27.28	その他費用及び損失	—	
	設定来	115.33	収支差計	303,902	

#### ■特別勘定資産の内訳

項目	日本株式プラス型	
	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	119,021	4.4
その他有価証券	2,582,675	95.6
合計	2,701,697	100.0

※ 特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。

なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下《参考情報》に記載しております。

※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

### 《参考情報》 適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・ジャパン・スタイル・ブレンド・ファンド-2 [2017年3月 末日現在]

#### ■利用する投資信託について

【投資信託名】 適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・ジャパン・スタイル・ブレンド・ファンド-2

【委託会社】 アライアンス・パースタイン株式会社

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、投資スタイルの分散を図り、主として日本の株式を投資対象に信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。バリュー株(割安株)及びグロース株(成長株)への投資配分は、50%程度ずつを基本とし、一定の規律に従いリバランス<sup>1)</sup>を行います。

※ 当投資信託は、主として、パースタイン・日本ストラテジック・バリュー株・マザーファンド受益証券、アライアンス・日本大型成長株・マザーファンド受益証券に投資します。

#### ■当投資信託の詳細情報

##### ○ 資産配分比率

	基本資産配分	投資信託
バリュー株Mファンド*	50.00%	50.18%
グロース株Mファンド**	50.00%	49.88%
短期金融資産等	0.00%	-0.05%
合計	100.00%	100.00%

\* バリュー株Mファンド：パースタイン・日本ストラテジック・バリュー株・マザーファンド受益証券

\*\* グロース株Mファンド：アライアンス・日本大型成長株・マザーファンド受益証券

#### ■当投資信託の騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	▲0.27%	0.64%	14.75%	15.94%	29.90%	102.96%
BM	▲0.59%	0.57%	15.60%	14.69%	33.67%	109.41%
差	0.32%	0.08%	▲0.85%	1.25%	▲3.77%	▲6.45%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2009年1月8日)を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、TOPIX(東証株価指数 配当込)<sup>14)</sup>です。

・比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

##### ○ 組入上位10銘柄

	銘柄	業種	投資信託
1	日本電信電話	情報・通信業	4.51%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.88%
3	日本たばこ産業	食料品	3.53%
4	パナソニック	電気機器	2.65%
5	ブリヂストン	ゴム製品	2.53%
6	キーエンス	電気機器	2.43%
7	本田技研工業	輸送用機器	2.22%
8	SUMCO	金属製品	2.08%
9	JXホールディングス	石油・石炭製品	2.02%
10	三菱商事	卸売業	1.97%
合計			27.82%
組入銘柄数			108銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・2ページおよび6ページ～12ページに記載されている「\*1～\*9」の用語説明は、4ページに記載しています。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先： カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

# ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の現況（2016年4月～2017年3月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

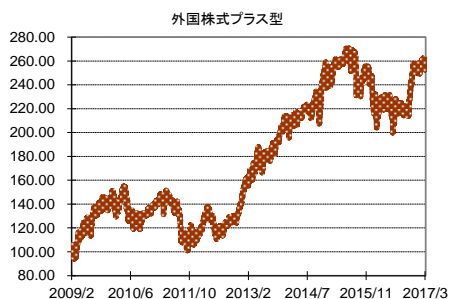
## 特別勘定 外国株式プラス型 [2017年3月 末日現在]

### ■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2016年度のユニットプライスの騰落率は+12.31%となりました。  
当期の日本を除く世界株式市場は、良好な経済環境や原油価格の上昇などに支えられたことに加え、米大統領選後トランプ新政権の経済政策による成長期待から上昇しました。利用する投資信託については、ベンチマーク比でマイナスとなりました。当期の世界株式市場は純資産利回りの高い銘柄が相対的に上昇する基調にあり、これらの銘柄を多めに保有していたことはプラスに寄りましたが、業種別では下落した繊維を多めに保有していたこと、個別銘柄では電気通信サービスや医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンスにおける銘柄選択がマイナスに寄りました。地域別では全体としてわずかながらマイナス寄与度となりました。今後も引き続き、当投資信託への投資を行う予定です。

### ■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



		外国株式プラス型
ユニット プライス	2017年3月末	258.65
	2016年12月末	253.92
	2016年9月末	216.96
	2016年6月末	210.24
	2016年3月末	230.30
	2015年12月末	247.60
騰落率 (%)	過去1ヵ月	0.91
	過去3ヵ月	1.86
	過去6ヵ月	19.22
	過去1年	12.31
	過去3年	21.87
	設定来	158.65

### ■特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	15,963
有価証券売却益	—
有価証券評価益	895,342
有価証券償還益	—
為替差益	—
その他収益	—
有価証券売却損	—
有価証券評価損	▲ 441,772
有価証券償還損	—
為替差損	—
その他費用及び損失	5,977
収支差計	1,347,100

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2009年2月1日)の前日を100.00として計算しています。

※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

※ 特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認いただくことができます。

### ■特別勘定資産の内訳

項目	外国株式プラス型	
	金額(千円)	比率(%)
現金・その他	532,998	4.3
その他有価証券	11,811,383	95.7
合計	12,344,382	100.0

※ 特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。

なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下《参考情報》に記載しております。

※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

## 《参考情報》アクサ IM・グローバル(日本除く)株式ファンド <適格機関投資家私募> [2017年3月 末日現在]

### ■利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ IM・グローバル(日本除く)株式ファンド <適格機関投資家私募>  
【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社  
【運用方針】

マザーファンドの受益証券への投資を通じて日本を除く世界各国の金融商品取引所上場株式への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

※ 当投資信託は、主としてアクサ IM・グローバル(日本除く)株式マザーファンド受益証券に投資します。

### ■当投資信託の騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	1.09%	2.22%	20.68%	12.96%	—	▲0.22%
BM	0.93%	2.77%	20.97%	14.99%	—	3.29%
差	0.16%	▲0.54%	▲0.29%	▲2.03%	—	▲3.51%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2015年3月23日)を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、

MSCIコクサイ指数<sup>®</sup>(配当込み/グロス/日本円換算)です。

・比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

### ■マザーファンド受益証券の詳細情報

#### ○ 組入上位10銘柄

	銘柄	国名	セクター	マザーファンド
1	APPLE INC.	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	2.08%
2	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.64%
3	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	1.55%
4	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.19%
5	PFIZER INC.	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	1.11%
6	INTEL CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.03%
7	JPMORGAN CHASE & CO.	アメリカ	銀行	1.01%
8	PEPSICO INC.	アメリカ	食品・飲料・タバコ	1.00%
9	INTL BUSINESS MACHINES CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.98%
10	VERIZON COMMUNICATIONS INC.	アメリカ	電気通信サービス	0.89%
	合計			12.48%
	組入銘柄数			500銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・2ページおよび6ページ～12ページに記載されている「\*1～\*9」の用語説明は、4ページに記載しています。

### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>



## ユニット・リンク保険（有期型）

### 特別勘定の現況（2016年4月～2017年3月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

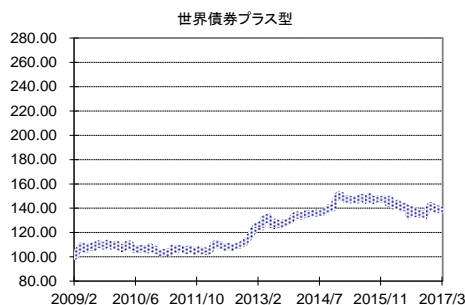
### 特別勘定 世界債券プラス型 [ 2017年3月 末日現在 ]

#### ■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2016年度のユニットプライス騰落率は▲3.88%となりました。  
 当期の世界の債券市場は、2016年6月にイギリスの欧州連合離脱決定をうけ、価格は上昇（利回りは低下）しました。その後、米連邦準備理事会による利上げ観測の高まりなどから価格は下落（利回りは上昇）しましたが、その後の利上げペースの加速について慎重な姿勢が示されたことなどから期末にかけては価格は上昇（利回りは低下）しました。利用する投資信託のベンチマークとの比較では、ユーロ圏の国債の銘柄選択などが主なマイナス要因となりました。一方、投資適格社債やインフレ連動債を組入れたセクター配分、ユーロ圏や日本の残存期間戦略、イギリスを高めめの比率とした国別配分などが主なプラス要因となりました。今後も引き続き、当投資信託への投資を行う方針です。

#### ■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



	世界債券プラス型
ユニットプライス	2017年3月末 139.26
	2016年12月末 142.44
	2016年9月末 135.27
	2016年6月末 136.99
	2016年3月末 144.88
	2015年12月末 146.07
騰落率（％）	過去1ヵ月 0.12
	過去3ヵ月 ▲2.24
	過去6ヵ月 2.94
	過去1年 ▲3.88
	過去3年 2.59
	設定来 39.26

#### ■特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	—
有価証券売却益	—
有価証券評価益	—
有価証券償還益	—
為替差益	—
その他収益	—
有価証券売却損	—
有価証券評価損	35,596
有価証券償還損	—
為替差損	—
その他費用及び損失	93
収支差計	▲35,690

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日（2009年2月1日）の前日を100.00として計算しています。

※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

※ 特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認いただくことができます。

#### ■特別勘定資産の内訳

項目	世界債券プラス型	
	金額(千円)	比率(%)
現金金・その他	80,702	4.2
その他有価証券	1,854,490	95.8
合計	1,935,193	100.0

※ 特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。

なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下《参考情報》に記載しております。

※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

### 《参考情報》 適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・グローバル・ボンド・ファンド-3 [ 2017年3月 末日現在 ]

#### ■利用する投資信託について

【投資信託名】 適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・グローバル・ボンド・ファンド-3  
 【委託会社】 アライアンス・パースタイン株式会社  
 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国の投資適格債（BBB格以上）を投資対象に分散投資と投資対象証券の相対的投資価値分析を基本として、信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。  
 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。  
 ※ 当投資信託は、主としてアライアンス・パースタイン・グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券に投資します。

#### ■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	0.19%	▲2.22%	3.39%	▲3.71%	4.25%	39.91%
BM	▲0.27%	▲2.56%	1.89%	▲4.32%	4.57%	35.94%
差	0.46%	0.35%	1.51%	0.61%	▲0.31%	3.97%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日（2009年1月8日）を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、シティ世界国債インデックス（円ベース）<sup>①</sup>です。

・ 比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

#### ■マザーファンド受益証券の詳細情報

##### ○ 組入上位10銘柄

順位	銘柄	国名	クーポン	償還日	格付		マザーファンド
					ムーディーズ	S&P	
1	米国国債	アメリカ	1.125%	2021年07月31日	Aaa	AA+	5.99%
2	米国国債	アメリカ	1.125%	2021年02月28日	Aaa	AA+	5.12%
3	日本国債	日本	0.100%	2026年03月10日	A1	A+	4.17%
4	米国国債	アメリカ	2.000%	2026年11月15日	Aaa	AA+	2.90%
5	米国国債	アメリカ	0.125%	2019年04月15日	Aaa	AA+	2.75%
6	イタリア国債	イタリア	2.000%	2025年12月01日	Baa2	BBB-	2.54%
7	イタリア国債	イタリア	1.350%	2022年04月15日	Baa2	BBB-	2.48%
8	日本国債	日本	1.400%	2034年09月20日	A1	A+	2.45%
9	カナダ・ハウジング・トラスト	カナダ	3.800%	2021年06月15日	Aaa	AAA	2.34%
10	イタリア国債	イタリア	4.500%	2018年08月01日	Baa2	BBB-	2.05%
合計							32.78%
組入銘柄数							156銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

・ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・ 2ページおよび6ページ～12ページに記載されている「\*1～\*9」の用語説明は、4ページに記載しています。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

# ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の現況（2016年4月～2017年3月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

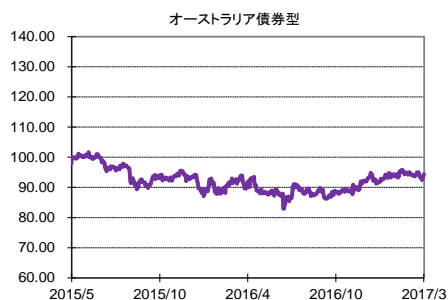
## 特別勘定 オーストラリア債券型 [ 2017年3月 末日現在 ]

### ■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2016年度のユニットプライス騰落率は+0.63%となりました。  
当期の当投資信託では、残存期間戦略などがマイナス要因となりました。イギリスの欧州連合(EU)離脱による影響は限定的であり、米国経済の拡大がけん引し、引き続き安定した成長を維持すると考えています。オーストラリア経済は、緩やかな成長が続くと予想していますが、低インフレが長期化するとみられることからオーストラリア中央銀行は、引き続き雇用情勢や、住宅市場等、経済動向を注視しながら更なる利下げを行うと予想しています。今後も引き続き、当投資信託への投資を行う方針です。

### ■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



		オーストラリア債券型
ユニット プライス	2017年3月末	94.41
	2016年12月末	91.87
	2016年9月末	87.45
	2016年6月末	86.75
	2016年3月末	93.82
	2015年12月末	94.19
騰落率 (%)	過去1ヵ月	▲0.20
	過去3ヵ月	2.77
	過去6ヵ月	7.96
	過去1年	0.63
	過去3年	-
	設定来	▲5.58

### ■特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	-
有価証券売却益	-
有価証券評価益	22,763
有価証券償還益	-
為替差益	-
その他収益	-
有価証券売却損	-
有価証券評価損	-
有価証券償還損	-
為替差損	-
その他費用及び損失	353
収支差計	22,409

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2015年5月1日)の前日を100.00として計算しています。

※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

※ 特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認いただくことができます。

### ■特別勘定資産の内訳

項目	オーストラリア債券型	
	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	31,059	4.4
その他有価証券	667,782	95.6
合計	698,842	100.0

※ 特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。

なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下(参考情報)に記載しております。

※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

## 【参考情報】アライアンス・バーンスタイン・オーストラリア債券ファンド (適格機関投資家専用) [ 2017年3月 末日現在 ]

### ■利用する投資信託について

【投資信託名】 アライアンス・バーンスタイン・オーストラリア債券ファンド (適格機関投資家専用)  
【委託会社】 アライアンス・バーンスタイン株式会社  
【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてオーストラリア・ドル建の国債、州政府債、国際機関債および事業債などの公社債に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。ブルームバーグ・オーストラリア国債インデックス<sup>®</sup>(円換算)をベンチマークとします。  
※ 当投資信託は、主としてアライアンス・バーンスタイン・オーストラリア債券マザーファンド受益証券に投資します。

### ■当投資信託の騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	▲0.12%	3.14%	8.89%	0.79%	-	▲4.02%
BM	▲0.70%	2.94%	7.54%	0.35%	-	▲5.18%
差	0.58%	0.20%	1.36%	0.44%	-	1.16%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2015年4月10日)を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、ブルームバーグ・オーストラリア国債インデックス<sup>®</sup>(円換算)です。

### ■マザーファンド受益証券の詳細情報

#### ○ 組入上位10銘柄

順位	銘柄	国名	クーポン	償還日	格付		マザーファンド
					ムーディーズ	S&P	
1	オーストラリア国債	オーストラリア	4.250%	2026年4月21日	Aaa	AAA	14.33%
2	オーストラリア国債	オーストラリア	5.750%	2022年7月15日	Aaa	AAA	8.76%
3	オーストラリア国債	オーストラリア	5.250%	2019年3月15日	Aaa	AAA	7.96%
4	オーストラリア国債	オーストラリア	3.250%	2025年4月21日	Aaa	AAA	7.83%
5	オーストラリア国債	オーストラリア	2.250%	2028年5月21日	Aaa	AAA	7.08%
6	オーストラリア国債	オーストラリア	5.750%	2021年5月15日	Aaa	AAA	6.83%
7	オーストラリア国債	オーストラリア	5.500%	2023年4月21日	Aaa	AAA	6.15%
8	オーストラリア国債	オーストラリア	3.750%	2037年4月21日	Aaa	AAA	4.37%
9	オーストラリア国債	オーストラリア	4.500%	2033年4月21日	Aaa	AAA	3.96%
10	オーストラリア国債	オーストラリア	3.250%	2029年4月21日	Aaa	AAA	3.88%
合計							71.15%
組入銘柄数							22銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・2ページおよび6ページ～12ページに記載されている「\*1～\*9」の用語説明は、4ページに記載しています。

### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

# ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の現況（2016年4月～2017年3月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

## 特別勘定 新興国株式型 [2017年3月 末日現在]

### ■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2016年度のユニットプライス騰落率は +17.50%となりました。  
当期の新興国株式市場は、原油価格の上昇や米トランプ新政権の政策期待などを背景に投資家のリスク志向が高まり、上昇しました。今後も、運用ガイドラインを遵守しながら、ベンチマーク収益率に極力近い収益率の実現を目標に運用を行います。今後も引き続き、当投資信託への投資を行う方針です。

### ■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



- ※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2015年5月1日)の前日を100.00として計算しています。
- ※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。
- ※ 特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認いただくことができます。

### ■特別勘定資産の内訳

項目	新興国株式型	
	金額(千円)	比率(%)
現金・その他	58,132	4.2
その他有価証券	1,335,066	95.8
合計	1,393,199	100.0

- ※ 特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下《参考情報》に記載しております。
- ※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

### ■特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	7,983
有価証券売却益	—
有価証券評価益	156,180
有価証券償還益	—
為替差益	—
その他収益	—
有価証券売却損	—
有価証券評価損	▲20,463
有価証券償還損	—
為替差損	—
その他費用及び損失	—
収支差計	184,627

## 《参考情報》 エマージング株式インデックス・ファンド <適格機関投資家限定> [2017年3月 末日現在]

### ■利用する投資信託について

【投資信託名】 エマージング株式インデックス・ファンド <適格機関投資家限定>  
【委託会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社  
【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、中長期的に新興国の株式市場(MSCI エマージング・マーケット・インデックス<sup>®</sup>(円ベース))の動きに連動した投資成果の獲得をめざして運用を行うことを基本とします。外資建資産については、ベンチマークとの連動性を維持することを目的とする場合を除き、原則として為替ヘッジを行いません。  
※ 当投資信託は、主としてエマージング株式インデックス・マザーファンド受益証券に投資します。

### ■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	2.63%	8.39%	17.79%	17.02%	10.31%	43.29%
BM	2.57%	8.45%	18.47%	18.42%	15.99%	60.56%
差	0.06%	▲0.07%	▲0.67%	▲1.39%	▲5.67%	▲17.27%

- ※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2009年11月30日)を起点として計算しています。
- ※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。
- ※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、MSCIエマージング・マーケット・インデックス<sup>®</sup>(円ベース)です。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額となります。

### ■マザーファンド受益証券の詳細情報

#### ○資産配分比率

	マザーファンド
外国株式	95.96%
株式先物	3.90%
短期金融資産等	0.14%
合計	100.00%

#### ○組入上位10銘柄

	銘柄	国名	セクター	業態	マザーファンド
1	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国	情報技術	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.93%
2	TENCENT HOLDINGS LTD	中国	情報技術	ソフトウェア・サービス	3.63%
3	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING CO LTD	台湾	情報技術	半導体・半導体製造装置	3.38%
4	ALIBABA GROUP HOLDINGS LTD	中国	情報技術	ソフトウェア・サービス	2.69%
5	NASPERS LTD	南アフリカ	一般消費財・サービス	メディア	1.72%
6	CHINA MOBILE LTD	中国	電気通信サービス	電気通信サービス	1.59%
7	CHINA CONSTRUCTION BANK CORP	中国	金融	銀行	1.47%
8	HON HAI PRECISION INDUSTRY CO LTD	台湾	情報技術	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	1.06%
9	INDUSTRIAL AND COMMERCIAL BANK OF CHINA LTD	中国	金融	銀行	1.06%
10	BAIDU, INC.	中国	情報技術	ソフトウェア・サービス	0.99%
合計					21.52%
組入銘柄数					538銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・2ページおよび6ページ～12ページに記載されている「\*1～\*9」の用語説明は、4ページに記載しています。

### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

# ユニット・リンク保険（有期型）

## 特別勘定の現況（2016年4月～2017年3月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

### 特別勘定 金融市場型 [2017年3月 末日現在]

#### ■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2016年度のユニットプライスの騰落率は▲0.48%となりました。

当期の日本短期債券市場は、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が導入されたことを背景に、マイナス圏で推移しました。期中は、米国など海外市場の金利上昇の影響などを受けて短期国債利回りは一時上昇する場面もありましたが、その後は再び低下基調で推移しました。年度を通じてみると、日本短期債券市場の利回りは前年度末とほぼ同水準で期を終えました。利用する投資信託では、サムライ債などの運用がプラス要因となり、年度のリターンはベンチマークを上回る結果となりました。今後も引き続き、当投資信託への投資を行う予定です。

#### ■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



		金融市場型
ユニット プライス	2017年3月末	96.98
	2016年12月末	97.20
	2016年9月末	97.33
	2016年6月末	97.41
	2016年3月末	97.44
	2015年12月末	97.69
騰落率 (%)	過去1ヵ月	▲0.10
	過去3ヵ月	▲0.23
	過去6ヵ月	▲0.36
	過去1年	▲0.48
	過去3年	▲1.42
	設定来	▲3.02

#### ■特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	108
有価証券売却益	—
有価証券評価益	▲4
有価証券償還益	—
為替差益	—
その他収益	—
有価証券売却損	—
有価証券評価損	24
有価証券償還損	—
為替差損	—
その他費用及び損失	—
収支差計	78

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2009年2月1日)の前日を100.00として計算しています。

※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

※ 特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認くださいことができます。

#### ■特別勘定資産の内訳

項目	金融市場型	
	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	19,208	9.7
その他有価証券	179,509	90.3
合計	198,717	100.0

※ 特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。

なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下《参考情報》に記載しております。

※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

### 《参考情報》アクサ ローゼンバーク・日本円マネー・プール・ファンド(B) (適格機関投資家私募) [2017年3月 末日現在]

#### ■利用する投資信託について

#### ■当投資信託の騰落率

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーク・日本円マネー・プール・ファンド(B) (適格機関投資家私募)  
 【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社  
 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として円建ての短期公社債や短期金融商品に投資し、安定した収益の確保をめざします。  
 ※ 当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーク・日本円マネー・プール・マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)に投資します。

#### ■マザーファンド受益証券の詳細情報

##### ○資産構成

	修正デュレーション	マザーファンド
公社債	0.93年	97.64%
短期資産等	0.00年	2.36%
合計	0.91年	100.00%

※ 「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	▲0.07%	▲0.12%	▲0.13%	0.02%	0.07%	2.24%
BM	▲0.00%	▲0.01%	▲0.02%	▲0.05%	0.09%	1.68%
差	▲0.06%	▲0.11%	▲0.11%	0.07%	▲0.02%	0.56%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、

日本円無担保コールオーバーナイト物レート<sup>9)</sup>により日々運用したときに得られる投資収益を指数化したものです。

・ 比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

・ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・ 2ページおよび6ページ～12ページに記載されている「\*1～\*9」の用語説明は、4ページに記載しています。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

## ユニット・リンク保険（有期型）のリスクおよび諸費用について①

### 【投資リスクについて】

この保険は積立金額、払いもどし金額および満期保険金額などが特別勘定資産の運用実績に応じて変動（増減）するしくみの保険です。特別勘定資産の運用には、資産配分リスク、株価変動リスク、金利変動リスク、信用リスク、カントリー・リスク、流動性リスク、為替リスク、派生商品取引のリスクなどがあります。これらのリスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。ご契約を解約した場合の払いもどし金額や満期保険金額などが払込保険料総額を下回る場合があります。（払いもどし金額および満期保険金額に最低保証はありません。）特別勘定における資産運用の結果がご契約者の期待どおりでなかった場合でも、当社または第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。

### 【諸費用について】

＜保険料払込時および保険期間中にかかる費用＞（以下の各費用の合計額をご負担いただきます。）

#### ●保険関係費

保険関係費とは、お払込みいただいた保険料もしくは積立金から控除される諸費用です。保険関係費の細目は下表のとおりです。

保険関係費の細目	取扱内容
(1) 保険契約の締結・維持および保険料の収納に必要な費用	特別勘定への繰入の際に保険料から控除します。
(2) 特別勘定の管理に必要な費用	*契約日が2017年4月1日以前のご契約者様積立金額に対して年率0.50%(0.50%/365日)を乗じた金額を、毎日、積立金から控除します。
(3) 基本保険金額保証に関する費用	また、積立金額に対して年率0.25%(0.25%/12ヵ月)を乗じた金額を、月単位の契約応当日始に積立金から控除します。
(4) 死亡保障などに必要な費用(危険保険料)	月単位の契約応当日始に積立金から控除します。
(5) 保険料払込免除に関する費用	保険料に対して0.1%~0.2%(保険料払込期間に応じます。)を乗じた金額を、特別勘定への繰入れの際に保険料から控除します。

- ※ 保険関係費(上表(1)~(5))の総額は、被保険者の年齢、性別などにより異なるため、具体的な金額や上限額を表示することができません。  
 ※ 契約条件に関する特約(08)を付加し、特別保険料の付加の条件が適用された場合は、特別保険料をご負担いただきます(特別勘定への繰入の際に保険料から控除します。)  
 特別保険料は特別勘定では運用いたしません。特別保険料は契約条件・特別条件承諾書でご確認ください。  
 ※ 特別勘定の管理に必要な費用と基本保険金額保証に関する費用の改定により、2017年3月度の運用レポートより、保険関係費の表記を見直いたしました。

#### ●運用関係費

項目	費用(投資信託の純資産に対して)	ご負担いただく時期
運用関係費	安定成長バランス型 : 年率 0.50868%程度 (税抜:0.4710%程度) *1	特別勘定にて利用する投資信託において、毎日、投資信託の純資産額から控除します。
	積極運用バランス型 : 年率 0.55944%程度 (税抜:0.5180%程度) *1	
	日本株式プラス型 : 年率 0.88560%程度 (税抜:0.8200%程度)	
	外国株式プラス型 : 年率 0.54000%程度 (税抜:0.5000%程度)	
	世界債券プラス型 : 年率 0.56160%程度 (税抜:0.5200%程度)	
	オーストラリア債券型 : 年率 0.33480%程度 (税抜:0.3100%程度)	
	新興国株式型 : 年率 0.54000%程度 (税抜:0.5000%程度)	
金融市場型 : 年率 0.03510%~0.49680%程度 (税抜:0.0325%~0.4600%程度) *2		

- ※ 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬のほか、信託事務の諸費用など、有価証券の売買委託手数料および消費税などの税金などの諸費用がかかりますが、これらの諸費用は運用資産額や取引量などによって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの諸費用を間接的に負担することとなります。  
 ※ 運用関係費は、特別勘定の廃止もしくは統合・運用協力会社の変更・運用資産額の変動などの理由により、将来変更される可能性があります。  
 \*1 「安定成長バランス型」および「積極運用バランス型」の運用関係費は、主な投資対象である投資信託の信託報酬率を基本資産配分比率で加重平均した概算値です。各投資信託の信託報酬率はそれぞれ異なりますので、各投資信託の価格の変動などに伴う実際の配分比率の変動により、運用関係費も若干変動します。  
 \*2 「金融市場型」の運用関係費は、各月の前月最終5営業日における無担保コールオーバーナイト物レートの平均値に応じて毎月見直されます。

#### ＜特別勘定が利用する投資信託変更による運用関係費の変更＞

- ※ 安定成長バランス型、積極運用バランス型および外国株式プラス型の運用関係費は、2015年4月に新たに投資することになった投資信託の信託報酬率を元にしたものです。2015年5月26日に償還された投資信託の信託報酬率を元にしたものは以下のとおりです。  
 安定成長バランス型:年率 0.63396%程度(税抜:0.587%程度)  
 積極運用バランス型:年率 0.76464%程度(税抜:0.708%程度)  
 外国株式プラス型 :年率 1.02600%程度(税抜:0.950%程度)

#### ＜特別勘定が利用する投資信託の投資信託約款の変更による運用関係費の変更＞

- ※ 安定成長バランス型、積極運用バランス型、日本株式プラス型および世界債券プラス型の運用関係費は、2016年7月29日付の投資信託約款の変更により引下げとなりました。変更前のものは以下のとおりです。  
 安定成長バランス型:年率 0.53676%程度(税抜:0.4970%程度)  
 積極運用バランス型:年率 0.59454%程度(税抜:0.5505%程度)  
 日本株式プラス型 :年率 1.02600%程度(税抜:0.9500%程度)  
 世界債券プラス型 :年率 0.70200%程度(税抜:0.6500%程度)

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

## ユニット・リンク保険（有期型）のリスクおよび諸費用について②

### <解約・減額時にかかる費用>

#### ●解約控除

項目	費用	ご負担いただく時期
解約控除	解約日または減額日における保険料払込年月数が10年未満の場合に、基本保険金額に対し保険料払込年月数により計算した額	解約日または減額日の積立金額から控除します。

※ 解約控除額は保険料払込年月数、契約年齢、保険期間などによって異なり、具体的な金額を表示することができません。

※ 保険料払込年月数が10年未満の場合、基本保険金額の減額やユニット・リンク払済保険への変更などにも解約控除がかかります。

※ 早期に解約された場合は解約控除額が大きくなり、払いもどし金が多くなる場合があります。

### <積立金の移転に関わる費用>

項目	時期	費用	備考
積立金 移転費用	積立金の 移転時	【書面による移転申込みの場合】 月1回1,500円、2回目からは1回につき2,300円	毎回の移転について積立金から控除します。
		【インターネットによる移転申込みの場合】 月1回の移転は無料、2回目からは1回につき800円	

※ 積立金移転時は、その際必要となる移転費用の2倍相当額以上の積立金残高が必要です。積立金移転費用は将来変更される可能性があります。

### <年金払特約(06)、年金払移行特約による年金支払期間中にかかる費用>

項目	費用	ご負担いただく時期
年金 管理費	年金のお支払いや管理などに必要な費用 年金額に対して1.0%*	年単位の契約応当日に責任準備金から控除します。

\* 記載の費用は上限です。年金管理費は、将来変更される可能性があります。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>